

様式第 2

特 定 施 設 使 用 届 出 書

年 月 日

碧南市長 殿

氏名又は名称及び住所
届出者 並びに法人にあつては
その代表者の氏名

騒音規制法第 7 条第 1 項の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称			※ 整 理 番 号		
工場又は事業場の所在地			※ 受 理 年 月 日		年 月 日
工場又は事業場の事業内容			※ 施 設 番 号		
常時使用する従業員数			※ 審 査 結 果		
△ 騒 音 の 防 止 の 方 法	別紙のとおり。		※ 備 考		
特 定 施 設 の 種 類	型 式	公 称 能 力	数	使用開始時刻 (時・分)	使用終了時刻 (時・分)

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、騒音規制法施行令別表第 1 に掲げる項番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
- 2 騒音の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、消音器の設置、音源室内の防音措置、遮音塀の設置等騒音の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格 A4 とすること。

別紙

騒音の処理方法概要書

発 生 源 で あ る 施 設 等					
A 発生源での騒音レベル		m デシベル	m デシベル	m デシベル	m デシベル
騒 音 対 策 に よ る 減 衰 値	B 音源対策による減衰	デシベル	デシベル	デシベル	デシベル
	C 距 離 減 衰	m デシベル	m デシベル	m デシベル	m デシベル
	D 建屋による減衰	デシベル	デシベル	デシベル	デシベル
	E 防音壁等による減衰	デシベル	デシベル	デシベル	デシベル
	F 減 衰 値 合 計 B+C+D+E	デシベル	デシベル	デシベル	デシベル
敷地境界線での騒音レベル予測 A－F		デシベル	デシベル	デシベル	デシベル
防 音 対 策 の 具 体 的 内 容					
施 設 の 使 用 時 間		時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分
当該事業所に適用される 規 制 基 準 値		【午前8時から午後7時まで】 デシベル	【午前6時から午前8時まで及 び午後7時から午後10時まで】 デシベル	【午後10時から午前6時まで】 デシベル	
区 域 の 区 分		第 種区域			

施設等の位置及びその位置から敷地境界線までの距離を示した図面